

## ○スリランカの幼稚園経営者と懇談 園長



スリランカ民主社会主義共和国（通称スリランカ。首都スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ）を訪問し、8月20日、経済の中心的都市コロomboで現地の幼稚園経営者 Ms. Shanaz Ghosh と面談し、意見交換しました。

MapleBear Canadian Pre-school は、英国式カリキュラムに基づくカナダのフランチャイズ園です。フランチャイズの園は、世界中で同じカリキュラムを実施しています。同園は3学期制により8か月～6歳までの園児の保育と教育に当たっています。

## ○ニュージーランド幼児教育施設研修 吉田夏子/阿部由美子

ニュージーランド（首都ウエリントン）



大工道具を使う子どもたち

ハミルトンおよびオークランドの幼児教育施設（幼稚園、保育園ほか）を8月20日～24日まで視察し、ワイカト大学で「テファリキ（Te Whariki）」の講義を受講してまいりました。

ニュージーランドの幼児教育は、就学前（5歳の誕生日を迎える前）の乳幼児の教育のことで、1996年よりナショナルカリキュラムである「テファリキ」（マオリ語で「縦横に編んだ織物」のこと）が用いられています。

「テファリキ（Te Whariki）」とは、今、世界で注目されている幼児教育のひとつで、二つの文化の共生を意図したカリキュラムです。本カリキュラムは、先住民族であるマオリ族の文化とイギリス系の西洋人（パケハ）との二文化を融合させて作ったものです。就学前の子どもたちに「今、ここにある生活」を重視させるのが目的です。

本園でも、園児たちが「今、ここにある生活」を重視できるように異年齢での関わりや、園庭の環境、教室のコーナーの環境などを改善し、日々進化させる取り組みを行っています。園児たちが考えて遊ぶ環境設定をよりいっそう工夫していきたい、と刺激を受けた研修でした。



ワイカト大学での講義

○グアム研修旅行 —Saint Paul Christian School 視察と英会話レッスン— 村上愛実



学校前で

2018年7月25日～27日A班、7月31日～8月1日B班の2班に分かれて、グアム研修に行き、デデド村にある Saint Paul Christian School を視察しました。同スクールは、キリスト教をベースとした幼稚部から高校までの私立学校です。

当該期間は夏季休業期間中でしたが、園内で主としてアジア圏から参加した児童、生徒たちがサマーキャンプのカリキュラムに取り組んでいました。彼らの授業を参観したほか、同スクール幼稚園園長が教室等施設を懇切に案内してくださり、新学期の準備中であった先生方とも意見交換することができました。幼稚園児は一人一台 iPad を所持するなど、ICT化を目の当たりにしました。



英会話レッスン

英会話のクラスでは、ネイティブの発音に触れながら基本的なコミュニケーションの仕方を学びました。本園でも英語教育が始まりましたが、今回の研修で学んだことを踏まえて、今後の教育および異文化交流などに役立ててまいります。